

# 社会科学習指導案（歴史的分野）

日 時 平成 21 年 1 月 10 日（火）第 5 校時  
 対 象 2 年 1 組（男子 2 名，女子 1 名，計 3 名）  
 指導者 教 諭 宮 路 正

## 1 単元名 日清・日露戦争と近代産業

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領の歴史的分野内容（5）「近現代の日本と世界」のウ『近代国家の発展と対外関係』にあたり、主に 19 世紀後半から 20 世紀初めまでの時期を扱う。

この時代、イギリス、ドイツ、アメリカなど欧米列強は、資本主義の発展を背景に、資源や市場を求めてアジアやアフリカを植民地とし、帝国主義政策を進めた。一方、日本は明治維新後の急激な社会の変化の中で、国内政治の整備や欧化政策を進め、大日本帝国憲法に制定によりアジア初の近代的な立憲国家となり、最大の外交課題だった条約改正も達成した。さらに日清・日露戦争や日清戦争後の中国分割を通して大陸に勢力をのばし、欧米の帝国主義列強の一員となった。また、殖産興業による近代化も進み、1890 年代には紡績などの軽工業を中心に産業革命を達成し、人々の生活は大きく変わり、近代文化も形成された。

特に本単元は、急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上と大陸との関係のあらましを、理解させるのがねらいであり、日清・日露戦争を学習していく。そのため、単なる 2 国間の争いとして戦争の原因や経過・結果を知識として捉えるだけでなく、欧米列強の帝国主義的な動きとして関連付けるとともに、この時代の為政者や様々な立場の人たちの戦争に対する捉え方や考え方があったこと、そして今からこれらを学ぶ生徒が自分なら戦争というものに対してどう考え、どう行動するか、自らの課題として捉えることが重要である。また、このことは、学習指導要領の目標（4）「様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。」に適した題材であると考えられる。

#### (2) 系統観

##### 【小学校第 6 学年】

世界に歩み出した日本
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「会社」がつけられた</li> <li>・陸奥宗光と条約改正</li> <li>・中国やロシアと戦う</li> <li>・朝鮮を植民地にする</li> <li>・国際社会で活やくする日本人</li> <li>・生活や社会の変化</li> </ul>
【小学校学習指導要領】
大日本帝国憲法の発布，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて調べ，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことをおさえさせる。

##### 【中学校第 2 学年】

日清・日露戦争と近代産業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米列強の侵略と条約改正</li> <li>・日清戦争</li> <li>・日露戦争</li> <li>・韓国と中国</li> <li>・産業革命の進展</li> <li>・近代文化の形成</li> </ul>
【中学校学習指導要領】
急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上と大陸との関係のあらましを，自由民権運動と大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正を通して理解させる

小学校では、人物の働きや代表的な文化遺産を中心とした歴史学習を行っている。本単元に関連することでは、板垣退助、大隈重信、伊藤博文、陸奥宗光、東郷平八郎、小村寿太郎、野口英世などの働きを取り上げて調べることを通して、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことを学んでいる。これを受けて中学校では、小学校での学習内容の系統性を踏まえた上で、大陸をめぐる当時の国際情勢を背景に、戦争に至るまでの我が国の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などについて、資料等の読み取りを通して理解させたい。

#### (3) 生徒観

学級の生徒数 3 人という極小規模校の環境の中で学習しているが、明るく、教師の発問に対する反応も活発で意欲的である。4 月に実施した標準学力検査の 5 段階評定でも「5」が 1 人、「4」が 2 人であり、地理的分野、歴史的分野ともに全国通過率を上回っており、本単元に関連する小学校の既習事項もほぼ理解している。ただ、意識調査の結果からもわかるように思考力・判断力を問う問題や自分の言葉でまとめる、発表する表現力は十分とはいえない。

##### 意識調査から

1. 資料を読み取り正しく説明している文章を選ぶ問題を答えるのは得意ですか。	【得意 1 人 不得意 2 人】
2. 資料を読み取って記述する問題を答えるのは得意ですか。	【得意 1 人 不得意 2 人】
3. 資料を基に自分の考えや意見を記述する問題を答えたり発表したりするのは得意ですか。	【得意 1 人 不得意 2 人】

小学校の既習事項に関する実態調査の結果から（小学校社会科教育研究会編テストより抜粋）

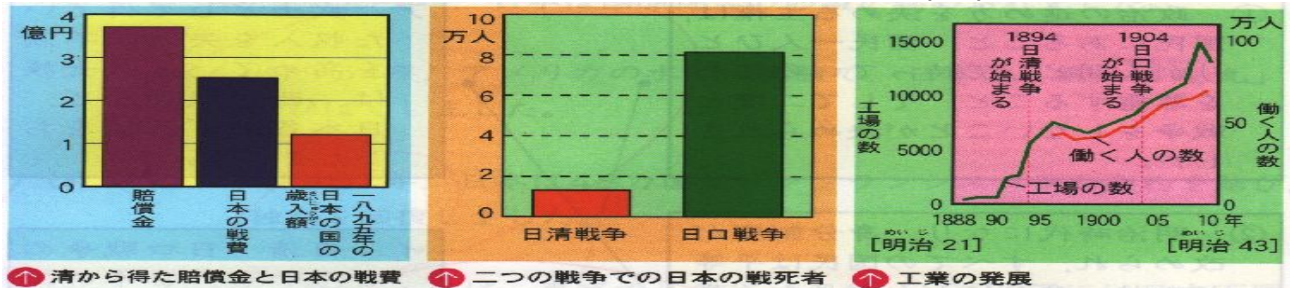
1. 下のア～ウの資料を見て、あとの問題に答えなさい。（思考・判断）

<p>ア </p> <p><b>韓国併合</b></p> <p>朝鮮の子どもたちは、日本語で教育されました。</p>	<p>イ </p> <p><b>日露戦争</b></p> <p>ロシアとの激しい戦争で、日本も多くの犠牲者がでました。</p>	<p>ウ </p> <p><b>ノルマントン号事件</b></p> <p>イギリスの船員は、全員助かったが、日本人の乗客は、全員おぼれて死にました。</p>
---	---	---

- (1) ア～ウの資料のできごとを、年代の順に並べなさい。  
(ウ) (イ) (ア) 【正答者1人】
- (2) 上の資料の中で、欧米の支配に苦しむアジアの国々を勇気づけたのはどのできごとでしょうか。ア～ウの記号で答えなさい。(イ) 【正答者3人】
- (3) 不平等条約の改正の動きが日本で高まるきっかけになったできごとは、どれでしょうか。ア～ウの記号で答えなさい。(ウ) 【正答者3人】

2. はなこさんたちは、次のグラフをもとに、日清戦争のころの日本の様子について話し合いをしています

資料を正しく読み取っている意見には を、そうでない意見には×を( )の中に入れて書き入れなさい。



い。(資料活用)

- ( ) ゆめこさん【正答者3人】  
日清戦争では、その頃の日本の1年間の歳入額の2倍以上ものお金が戦争に使われたんだね。
- (×) たろうさん【正答者3人】  
でも、清からは戦争にかかった費用(お金)の半分以上しか賠償金が取れなかったんだね。
- (×) ごろうさん【正答者3人】  
日清戦争が始まってから、国内の工場は戦争前と比べてずいぶん数が減っていったんだね。
- ( ) ともやさん【正答者3人】  
戦死者を比べると、日清戦争以上に日露戦争は、日本にとって最も激しく犠牲の多い戦争だったことが分かるね。

3. 次の文の( )にあてはまる言葉を書き入れなさい。(知識・理解)

日清戦争で勝利した日本は、多額の(ア)を得ました。さらに、日本は(イ)に勢力を広げようとしたが、(ウ)と対立を深め、1904年、日露戦争が起こりました。  
 ア 賠償金【正答者3人】 イ 朝鮮【正答者2人】 ウ ロシア【正答者3人】

(4) 指導観

指導にあたっては、単元の前半においては当時の日本を取り巻く国際情勢を把握するために、地図や風刺画などを用いて生徒の興味・関心を高めながら学習できるようにする。次に、日清・日露戦争について、資料から読み取ったことや疑問などを話し合う場面を設定し、様々な角度から見たり考えたりできるようにする。具体的には、帝国主義が成立し、アフリカやアジア諸国が分割されていったことを資料を通して気づかせ、こうした国際情勢を背景に日本も戦争によって植民地支配を進めたことを理解させたい。また、戦争後の日本の地位の変化や大陸との関係、外交政策について考察させたい。単元の後半では、2つの戦争に関連する国内外のできごとを関連づけ、戦争が産業や文化の近代化にどのように影響したのかとらえることができるようにする。

授業に関しては、次の3点に力点を置く。

小学校での学習内容を掘り起こし、意欲づけを図りながら本時への課題意識を高めるような導入資料を提示する。

中心発問を明確にし、個々の思考・判断が十分できるよう時間の確保を行う。

歴史の流れや基礎的・基本的事項を確実に理解させ、学習課題に対して自分の言葉で考えを述べられるような指導に心がける。

3 単元の目標

- (1) 19世紀後半の国際関係に興味を持ち、関連づけながら日清・日露戦争の起こった理由を意欲的に追究できる。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子、戦争の影響について、様々な角度から考察し、公正に判断できる。(社会的な思考・判断)
- (3) 我が国の近代産業の発展やその中の国民生活の変化、文化に関する資料を適切に選択し、考察した過程や結果をまとめることができる。(資料活用の技能・表現)
- (4) 急速に近代化を進めた我が国の国際的な向上と大陸との関係のあらましを、日清・日露戦争、条約改正を通して理解できる。(社会的事象についての知識・理解)

4 単元の指導計画と評価計画(全6時間)

時間	主な学習内容	学習目標	評価規準
1	1 欧米列強の侵略と条約改正 ・縮小する世界 ・東アジアの情勢 ・条約改正の実現	・日清戦争に至るまでの背景としての欧米諸国の植民地獲得競争に気づき、東アジアの情勢を理解する。 ・条約改正に至る過程を年表を通して調べ、人々の努力や国際情勢と関連させながら関心を持つ。	・日清戦争に至るまでの背景としての欧米諸国の植民地獲得競争に気づき、東アジアの情勢を理解できる。 知識・理解 ・条約改正に至るまでの過程について、人々の努力や国際情勢と関連させながら関心を持って意欲的に追究することができる。 関心・意欲・態度
2	2 日清戦争 ・日清戦争 ・加速する中国侵略 ・三国干渉	・日清戦争の原因と結果、その後の日本内外の情勢を理解する。 ・下関条約の内容に関心を持ち、その後アジア侵略に乗り出す様子を考える。	・日清戦争の原因と結果、その後の日本内外の情勢を理解できる。 知識・理解 ・日清戦争から三国干渉までの経過を年表にまとめ、説明することができる。 技能・表現
3	3 日露戦争 ・義和団事件 ・日露戦争	・アジアでのロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し、日露戦争の原因と結果、その影響について理解する。 ・日露戦争について、戦争の規模の大きさや日本内外の反応に着目し、様々な角度から考える。	・日露戦争について、国際関係での日本の立場の面と、国内の反応の面から考察できる。思考・判断 ・日本を取り巻く当時の国際関係について、資料から考察し結果をまとめ、説明することができる。 技能・表現
4	4 韓国と中国 ・韓国の植民地化 ・満鉄の設立 ・中華民国の成立	・韓国の植民地化の進展のあらましを理解する。 ・辛亥革命について、列強の支配と中国国内の民族的自覚の	・韓国併合までの経緯と併合後の統治の有様を考察し、日本が朝鮮民族の主権を侵害したことを考察できる。思考・判断 ・中華民国成立の経緯と中国国内の様子のあらましを理解できる。

		高まりに気づく。	知識・理解
5	5 産業革命の進展 ・産業の発展 ・資本家と労働者 ・地主と農民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の産業革命が軽工業から重工業へと移り変わっていく様子と人々の生活の変化を資料から読み取る。</li> <li>・産業革命により生活の向上が見られた一方で、様々な社会問題が発生したことに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紡績工場・八幡製鉄所の写真などから産業革命の開始を確認し、統計資料から工業の発展を読み取ることができる。 技能・表現</li> <li>・産業革命で都市や農漁村の生活の変化に関心を持ち、一方で労働問題や社会問題が発生している点にも気づき、意欲的に追究することができる。 関心・意欲・態度</li> </ul>
6	6 近代文化の形成 ・日本の美と西洋の美 ・新しい文章 ・学校教育の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代文化が形成されたことを、学問や科学技術で国際的な業績が生まれたことから理解する。</li> <li>・伝統的な文化の上に、欧米文化を受容して形成されたものであることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代文化が形成されたことを、学問や科学技術で国際的な業績が生まれたことから理解できる。 知識・理解</li> <li>・明治の文化について興味を持ち、意欲的にその内容や人々の業績を追究することができる。 関心・意欲・態度</li> </ul>

5 本時の実際 ( 3 / 6 )

(1) 主題 日露戦争

(2) 本時の目標

ア アジアでのロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し、日露戦争の原因について資料から読み取ることができる。(社会的な思考・判断)

イ 日露戦争の原因と結果、その影響について資料から読み取ったことをまとめることができる。(資料活用の技能・表現)

(3) 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点 ( は評価項目 )	資料
課題把握	10分	1 前時の活動を振り返る。 2 「日露戦争の風刺画」を見て、4人の人物は、それぞれどこの国かを発表する。 3 「日本とロシアの戦力比較」を提示し、本時の学習課題を設定する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             なぜ日本はロシアと戦ったのだろうか。また、その結果、どうなったのだろうか。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日露戦争をめぐる列強の関係をもとに、当時の国際関係を理解させる。</li> <li>・子どものような日本と大国であるロシアに着目させ、本時の学習課題を導く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日清戦争の風刺画」</li> <li>・「日露戦争の風刺画」</li> <li>・「日本とロシアの戦力比較」</li> </ul>
課題追究	15分	4 日露戦争の原因について考える。 ・義和団事件後、日本とロシアが満州・朝鮮をめぐる対立したことを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">             日本はロシアと戦うべきかどうか？           </div> ・主戦論と反戦非戦論の資料を提示し、「どの意見に賛成か」自分の意見をまとめる。 ・イギリスが日本と同盟した理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三国干渉でのロシアの日本への対応について触れる。</li> <li>・中国民衆による排外運動(「義和団事件」)の高まりに気づかせる。</li> <li>日露戦争の原因について様々な資料を用いて調べ、日本と欧米諸国の国際関係での思惑・立場と関連付けて資料から読み取ることができる。(思考・判断)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひとすじの道」</li> <li>・「義和団事件」</li> <li>・「戦争への賛成意見と反対意見」</li> <li>ワークシート</li> <li>・「日英同盟」</li> </ul>
	10分	5 戦争の経過とポーツマス条約の内容を確認する。 ・与謝野晶子の「君死にたまふことなかれ」を提示し読み、詩の感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清・日露戦争の比較の資料で戦争の規模をとらえさせる。</li> <li>・反戦論を述べる人々の存在にも気づかせる。</li> <li>・国民に強い不満がなぜ生まれたか気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日清・日露戦争の比較」</li> <li>・与謝野晶子の歌</li> <li>・「戦後の増税」</li> </ul>
	5分	6 戦争後の日本の国際的な地位が	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争後の国内外の反応を取り           </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ネールの言葉」</li> </ul>

	分	どのように変化したか考える。	上げ，日本の国際的地位の向上を理解させる。	
課題整理	10分	7 本時のまとめをする。		・ワークシート
		8 次時の学習内容を確認する。	<p>日本は満州をめぐりロシアと対立したが，ロシアの進出を警戒する英米の援助を受けて戦争を有利に終えることができたことで日本のアジアへの優越感が高まり，アジア進出へとつながった。</p> <p>日露戦争の原因と結果，影響について考察した結果をまとめ，複数の要因を関連付けて文章表現や発表ができる。 （技能・表現）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しをもたせる。</li> </ul>	